

第3学年 道德指導案

1 主題名 将来を思い描く 内容項目C－(13)勤労 (教材名「リクエスト食」を支える)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目C－(13)は、「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」をねらいとしている。「勤労」とは、自分の務めとして心身を労して働くことであり、中学生が将来の生き方について考えるとき、自分の務めとは何か、将来就きたい職業について考えるようになる。職業は、一人一人の人生において重要な位置を占めており、人は働くことの喜びを通じて生きがいを感じ、社会とのつながりを実感することができる。しかし、職業キャリアの多様化により、自分のしている仕事の意義が見えにくく、自らの目的もちづらくなっている。そのため、職業や勤労に対する価値観が多様化する中であっても、勤労を通して社会に貢献するということを自覚し、充実した生き方を追求し実現していこうとする態度を養っていく。

(2) 生徒の実態について

本学級生徒30名は、道德科の授業に対して意欲が高く、積極的に取り組むことができる生徒が多い。しかし、自分の考えをワークシートに書き出すことはできるが、発表することを苦手としている生徒が多いため、自由に発言し、考えを深めていくことが難しい現状である。そのため、一人一台端末を活用し、発表を苦手とする生徒の意見を抽出しやすようにする。また、下記のアンケート結果によると、問1では、将来就きたい仕事が決まっている生徒は35%であった。進路を選択していくうえで重要であるため、望ましい職業観や勤労観を育む必要性がある。問2では、働くうえで大切にしたいことを確認した。「収入」が42%で1番多いという結果になった。生徒にとって「働く」ことは収入を得ることであると考えられる生徒が多く、「自分の個性を生かす」や「人の役に立つか」といった判断基準で考える生徒は少ないことが分かる。そこで、誰かのために働くことに重点を置き、人の役に立つことは何かを考え、行動できるような心を育てていきたい。

「働くこと」についてのアンケート

台原中学校3年1組26名

問1 あなたは将来、どのような職業に就きたいか決まっていますか。 はい 9名 いいえ 17名

問2 あなたが将来、働くうえで1番大切にしたいことは何ですか。

収入 11名 仕事内容 5名 職場の雰囲気 5名 労働時間 3名 自分の個性を生かす 1名 人の役に立つか 1名

(3) 指導について(「リクエスト食」を支える 出典:『中学道德3 きみがいちばんひかるとき』)

本資料は、ライターである著者が、淀川キリスト教病院ホスピス・子どもホスピス病院で行われている「リクエスト食」を取材して書いた書籍を出典としている。末期がんの患者の食事を作るという仕事に精一杯、真摯に向き合う管理栄養士の太谷さん、調理師の高藤さんの思いを捉えさせ、働くことにはどんな意味があるのか考えを深めていきたい。PDCA サイクルを意識し、授業を通して感じた思いの変化を授業前と授業内でアンケートを実施することで評価することで、自分の職業観やこれからの生活につなげられるように指導していく。

3 本時の指導

(1) ねらい

○他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

- ・道徳資料「中学道徳3 きみがいちばんひかるとき」 ・ポートフォリオ ・ワークシート
- ・プロジェクター ・ワークシート ・一人一台端末

(3) 展開

学習内容・活動	予想される生徒の反応	支援の手立て・評価（方法）
1 事前アンケートの結果を知る。 2 人はどうして働くのか考える。 ○人はどうして働くのか、これまでの経験から振り返って考えよう。 3 資料『リクエスト食』を支える」を読み、動画を視聴して、考える。 ・動画を視聴し、ホスピスで働く人の姿を捉える。 ○二人が、患者に対してこれほどできるのは、どうしてだろう。 ①ワークシートに自分の考えを書く。 ②グループで話し合う。 ③学級全体で共有する。 ◎『リクエスト食』を支える」を読んで、働くということについて、どんなことを考えましたか。 ①ワークシートに自分の考えを書く。 ②グループで話し合う。 ③学級全体で共有する。 4 本時のまとめをする。 ・事前アンケートと同様の事後アンケートに回答する。 ・ポートフォリオに授業で考えたことや、分かったことを記入する。	・収入を得て、欲しいものや必要なものを買うため。 ・働かないといけないから。 ・人の役に立つから。 ・自分の個性を生かせるから。 ・管理栄養士と調理師としてのプロ意識があるから。 ・患者の喜びが、自分の喜びややりがいになっているから。 ・患者さんの心のケアのためにも、「食」が大切だと考えているから。 ・「働く」とは、誰かの役に立つということ、それはとても重要なことだ。 ・プロ意識をもって働くことは、自分を成長させることでもあると思う。 ・働くことで、周りの人も自分も幸せにすることができたらいい。 ・誰かのために働くと考えたら、人は使命感をもって働くことができると思う。 ・誰かのために尽くすことは、実は自分のやりがいにもつながっている。	○事前アンケートの結果を表示することで、教材への方向付けを図る。 ○総合的な学習の時間の「職業調べ」を振り返るように助言する。 ㊦一人一台端末で回答し、それを表示することで、他の生徒の価値観に触れることができるようにする。 ①動画を視聴することで、ホスピスについて関心を高める。 ○自分の仕事が届く先にいる相手のことを思って、働いていることに気付かせる。 ㊦グループで話し合う際には、参考になった意見をメモすることで、自分の考えを深めていくよう助言する。 ㊦働くことを「他者のために」という見方ではなく、「働く本人にとってどんな意味があるか」という見方でも捉えてみるよう助言する。 ○さまざまな見方の意見を取り上げながら、「誰かのために働く」とことと、「自分のために働く」ことは密接に関わっていることに気付かせる。 評価 他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとしている。（発表、ワークシート） ○学習を通して感じたことやアンケート結果を基にして本時の振り返りを記入するように助言する。 ○教師の経験を話し、生徒が考える際の参考になるようにする。

(4) 支援のための手立て

㊦ 学び合いのための支援

① ICT 機器の活用

㊦ 個への支援